



おおきなせなかに

夢を乗せ^{あす}未来に羽ばたく元気なまち

第27号

5・16

平成18年5月16日

だ
い
せ
ん



春を駆ける

— 元気いっぱい遊ぶ大曲北幼稚園児（5月1日） —

- 制度が変わります/平成18年度市県民税
- 撫子の挑戦/応援に行こう「都道府県対抗なぎなた大会」
- 行政相談員、身体・知的障害者相談員の紹介
- 市役所からのお知らせ
- 広報見聞録

市

では、平成18年度の市県民税納税通知書を6月1日に送付する予定です。

勤務先の給料から市県民税が引かれる方には、勤務先をおして通知書を送付します。

今年度の市県民税は、税制改正に伴い多数の項目が変更されています。

特に「老年者控除の廃止」「公的年金等控除の見直し」など、65歳以上の方にとっては納税額が増える変更点があるため、改めて税制改正についてお知らせします。

なお、市県民税は前年の所得に対して課税されるもので、17年1月1日から12月31日までにに対して課税されます。

主な変更点

今 年度までに行われた税制改正の主な変更点は、次に紹介する5項目です。

全体に関係するものが「生計同一の妻に対する非課税措置の廃止」と「定率減税の縮小」の2項目です。

そして、65歳以上の方に関するものが「老年者控除の廃止」「公的年金等控除の見直し」「非課税限度額の廃止」の3項目になります。

これらの項目が変更になることにより、今まで非課税だった方にも課税される場合があります。

妻に均等割が課税

み

なさんに納めていた、だいている市県民税。その課税額は「均等割」と「所得割」の2つによって決められていますが、この2つの内、今年度から「均等割」の課税対象が変更になります。

均等割とは、ある一定以上の所得がある場合に一律課税される税金で、大仙市の場合は4000円です。今まで、生計を一緒にしている夫に均等割が課税されている場合、妻に収入があっても均等割は課税されませんでした。しかし、今年度から妻に一定以上の収入がある場合、均等割が課税されることとなります。

昨年度は緩和措置として夫が4000円、妻にはその半額の2000円が課税されましたが、今年度からは、生計が一緒であっても夫に4000円、妻も4000円が課税されることとなります。

一定以上の収入は扶養がない場合、給与収入で年間93万円以上の収入があることを指しています。

◆一定以上の収入がある妻への課税額／

16年度 非課税

17年度 2000円

(市15000円、県5000円)

18年度以降 4000円

(市30000円、県10000円)

平成18年度 制度が変わります

市県民税

【問い合わせ】税務課 ☎63-1111 内線 107 まで

妻に均等割が課税
定率減税が縮小
老年者控除が廃止
老年者非課税措置が廃止
公的年金等控除が縮小



定率減税が縮小

定率減税とは、所得税および住民税を一定割合減額する制度で、所得税と住民税から直接減税するものです。

11年度から景気対策の一環として、暫定的に導入されましたが、経済状況の改善などを踏まえて今年度に縮小、来年度には廃止されることが決定しました。

今年度以降の定率減税縮小率は次のようになります。

◆市県民税減税率／

17年度（減税率15%、上限4万円）
18年度（減税率7・5%、上限2万円）
19年度（定率減税廃止）

老年者控除が廃止

老年者控除は納税者本人が65歳以上で、合計所得金額が1000万円以下である場合、所得から48万円が一律控除される制度です。

これから迎える高齢化社会に対応し、高齢者と若い世代との税負担の不均衡をなくするため、今年度から廃止されることに決まりました。

今までは、年齢だけを基準にして控除が決定されていましたが、改正により世代間の税負担が見直され、より公平な課税体制になります。

老年者非課税措置が廃止

今までは、年齢65歳以上の方で前年の合計所得金額が125万円以下だった場合、税金が課税されない「老年者非課税措置」がありました。しかし、改正によってその非課税措置が廃止されました。

理由は、前述の「老年者控除の廃止」と同じく、税負担の公平を保つためです。ただし、激変緩和措置として、来年度までは次の税額に緩和されます。

また、市県民税の「均等割」についても、今年度が1300円、来年度が2600円と緩和され、20年度以降は通常の4000円になります。

◆昭和15年1月2日以前に生まれた方で、所得合計が125万円以下／

17年度 非課税

18年度 課税額の3分の2を減額
19年度 課税額の3分の1を減額
20年度 全額課税

◆均等割額内訳／

18年度 1300円
（市1000円、県300円）
19年度 2600円
（市2000円、県600円）
20年度以降 4000円
（市3000円、県1000円）

公的年金等控除が縮小

公的年金等控除は、年金収入から一定割合の金額を控除する制度です。しかし、この制度も前述の2つの制度と同様の理由で、改正されることになりました。主な改正は、今まで65歳以上の方に対して上乗せして適用されていた控除金額の縮小です。

昨年度までは、控除の最低保障額が140万円までだったため、年金の合計がそれ以下だった場合、所得金額が0円となり課税されませんでした。しかし、今年度から控除の最低保障額が120万円に引き下げられたため、それ以上の年金収入があった場合、課税対象となります。

そのほかに、計算方法も変更になったため、年金収入が多い方ほど課税金額に大きな影響があります。

具体的に例を挙げると、昨年の年金収入が280万円だった方の場合は、課税対象となる年金所得が17年度の場合135万円でした。しかし、改正によって控除額が下がったことにより、課税対象が今年度から160万円になります。

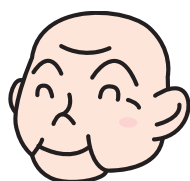
つまり、実際の収入に変化がなくても、税金の対象となる額が25万円増えます。これは税金の計算上では約33万円年金収入が増えたことと同じ意味になります。

例えば…

年金収入のある夫婦2人世帯の場合、今年度の税額はいくらになるのか？
※社会保険等の控除額を20万円とした場合。



妻・70歳
年金収入＝150万円



夫・70歳※妻を扶養
年金収入＝280万円

昨年度は4,000円、今年度が35,900円で

夫の市県民税が31,900円の増

昨年度は0円、今年度が1,300円で

妻の市県民税が1,300円の増

※金額は左の夫婦の場合で、実際は個々の事情で異なります。

この例では、夫の方が老年者控除の廃止と定率減税の縮小、公的年金等の計算方法が変わったことにより、市県民税にかかる所得割が31,900円の増となります。妻の方にも新たに均等割が課税され、1,300円（緩和措置）となっています。



県代表として都道府県対抗なぎなた大会に出場する5選手。
左から竹村さん、今さん、吉田さん、高橋さん、梅津さん。

な で し こ

撫子の挑戦

気・剣・体の一致を目指す5人の撫子は
日本の伝統文化である武道「なぎなた」に打ち込む
5月27、28日には当市を会場に
「第47回都道府県対抗なぎなた大会」が開催される
秋田県代表として出場する5人
大会に向けて、日ごろから技を練り、心を磨く



応援に行こう
都道府県対抗なぎなた大会

なぎなたの魅力

「気・剣・体が一致した多彩な技」

演技競技

多彩な技を繰り出すなぎなた

2メートルを超える長い道具を操る「なぎなた」。日本の伝統文化である武道において、これほど長い道具を使用するものはない。

回転運動や直線、曲線運動の加速度を利用し前後左右に振る。振り上げ、振り返し、繰り出し、繰り込み、持ち換えなどといった、なぎなた特有の多彩で変化に富んだ技が繰り出される。なぎなたには「なぎきる」「なぎたおす」という独特の使い方があり、この特徴から「薙刀」あるいは「長刀」の語源がある。

太刀よりも応用自在で長いなぎなたは多くの敵を相手にしたり、また、馬上の敵に対し有利な武器として使用された。しかし、鉄砲の登場により、なぎなたは戦場から姿を消した。その後は武士の装飾的な武器、あるいはその子女の護身用として用いられるようになり、なぎなたは武家に嫁ぐ嫁入り道具の一つとなった。

武道としてのなぎなた

現在では、格技競技としての良さを生かし、競技規則も統一され、スポーツとして普及しているが、武道の根底に流れる礼儀を重んじ、相手を尊ぶ精神は、なぎなたに受け継がれている。

なぎなたでは、気・剣・体が一致して、はじめて格調高い技と評価される。また、全日本なぎなた連盟では、理念として「なぎなたは、なぎなたの修練により、心身ともに調和のとれた人材を育成する」を掲げている。

「練習」のことを武道では「稽古」と呼ぶ。「練習」とは繰り返し習うことであるのに対し、「稽」とは「考える」という意味であるから、「稽古」とは古きを考えることになる。「古き」とは何か。昔からの教えもそうであるが、今自分が打ち放った一打も、過ぎてみれば古きものであると考えられる。

なぎなたの稽古とは、すべてを考えながら修行を積み、技を練り、心を磨き、気力を高め、体力を養うことであ



「静と動の相反する世界が広がるのが、なぎなたの魅力」と話すのは、秋田県なぎなた連盟の今野理事長。

演技には相手との間合いや駆け引き、相手を思いやる気持ちなど、試合には若い人にとって魅力を感じるスポーツ的な要素が含まれていますが、どちらも気・剣・体が一致したなぎなたが要求されます。

日本武道の中にあって、他に比べ普及が遅れていることは、残念ながら否めない事実だと思います。国体の競技種目としても歴史が浅い競技です。

しかし、大仙市では大曲高校、大曲農業高校の2校が部活動として、また、なぎなたのスポ少があるなど活動が盛んで、連盟としてうれしい限りです。県内でも関心が高い地域ですので、今大会を契機になぎなたを広く知っていただき、競技の緊張感や雰囲気を感じ取ってもらえたらと思います。

なぎなたは年齢に関係なく幅広く行える生涯スポーツです。左右対称の動きが要求されることから、バランスのとれた体を作ることができます。また、礼儀を重んじ、相手を尊ぶ精神も学ぶことができます。

世界なぎなた選手権が4年に1度開催されていることを知っていますか。日本の伝統文化として、海外でも盛んな武道の一つです。現在、強化指定を受けている選手には国体にとどまらず、ぜひ世界の舞台へと羽ばたいてほしいと願っています。

5月27、28日に開催される都道府県対抗なぎなた大会は、国体のリハーサル大会でもあります。県内でのリハーサル大会としては皮切りとなる大会ですのでプレッシャーを感じますが、ミスのない競技運営を目指し準備を重ねています。

ぜひ、秋田県選手の応援に会場に足を運んでいただきたいと思います。また、大会の2日目には剣道との「異種試合」が行われます。こちらも見どころ満載ですので、ぜひご覧ください。



秋田県なぎなた連盟
今野啓子理事長

「静」と「動」の世界を堪能してほしい



試合競技

演技競技と試合競技

る。そして、なぎなたをとおして日本のすぐれた伝統を守り、規律に従い、礼儀を尊び、信義を重んじる姿勢が磨かれる。

なぎなた競技には、演技競技と試合競技の2つがある。

演技競技は、防具を身に付けず2人1組で行い、その技を競う。基本動作や技を組み合わせた「しかけ・応じ」と伝統的ななぎなたの技が洗練された形の「全日本なぎなたの形」があり、その中から指定されたもので優劣を競い合う。

「赤」「白」2チーム同時に演技を行い、5人の審判がその優劣を旗で判定

し、その過半数で勝敗を決する。演技の態度や正確度、熟練度が判定の観点となる。

試合競技は、防具を身に付け、定められた部位を打突して勝負を競う。なぎなたの刃部は竹で、柄部は櫨の木で作られ、210〜225センチと定められている。防具として面、胴、小手、すね当てを着ける。敏速な動きの中から打突の機会を見だし、タイミング良く確実に早く打突して勝負を競う。試合は「3本勝負」で行われ、試合時間内に3人の審判の過半数が有効と認めた打突を2本先取した側の勝ちとなる。ただし、時間内に勝敗が決しない場合は、試合内容が審判員により判定される。

オフ

平成19年開催の秋田わか杉国体に向けた強化選手の中に、当市出身の選手がいる。

都道府県対抗なぎなた大会にも出場する両選手に、なぎなたとこれからについて話を伺った。

秋田県体育協会のテクニカルアドバイザーを務める竹村さん。4月からは市国体推進事務局に派遣され、国体の準備に忙しい。

なぎなたとの出会いは、小学3年の時、2歳の離れた姉の影響だった。その後、小学5年から中学時代にかけては別の競技に夢中になった。なぎなたを本格的に取り組んだのは、大曲高校に進んでからで、学校側から入部を勧められたほどの逸材。

高校での成績は東北大会団体戦2位、演技競技3位、インターハイ団体戦5位に入賞。大学は、日本武道の指導者を多く輩出している国際武道大学に進学し、体育学部武道学科で専門のなぎなた以外



チームのムードメーカー

竹村 紀子

(秋田県体育協会テクニカルアドバイザー)

にも、武道全般について学んだ。

大学時代は全日本学生選手権個人戦3位、東日本学生大会個人戦では2連覇を達成するなど、輝かしい成績を納めている。

都道府県対抗では、団体戦以外にも演技競技に出場。それぞれ都道府県代表による演技では、伝統的な技が洗練された「全日本なぎなたの形」に挑戦する。

「3段以上の上級者が出場し、使用するなぎなたも普段のものとは違います。刃の部分も檜の木で、切先も鋭角です。間合いや呼吸を間違うと相手にけがを負わせてしまうので、息が抜けません」

また、試合競技では先鋒を務めるチームのムードメーカーで、「先鋒の試合結果、内容によってチームの雰囲気が変わってきます。個人の勝負にこだわりながらも、ほかの

4人が試合に臨みやすいように自分の役割を果たしたい」と意欲を燃やす。

「半世紀に一度の国体が地元で開催されることは、選手冥利に尽きます。市内にはなぎなた部をもつ高校が2校もあり、競技熱の高い地域だと思いますので、ぜひ応援に来てほしいです」と話す。

「目標は優勝」ときっぱりと言いつける彼女の活躍が楽しみです。

Noriko Takemura

昭和56年10月17日生まれ・24歳(大曲上大町)秋田県体育協会テクニカルアドバイザーとして、4月から大仙市に派遣。都道府県対抗では、試合競技以外に演技競技にも出場。その実力と持ち前の明るさから、チームのムードメーカー。なぎなた4段。





撫子のオンと

— 競技者としての顔ともう一つの顔 —



間合いを大切に試合に臨む

今
真奈美

(シャインプラザ平安閣大曲)



「いらつしやいませ」。さわやかな笑顔がお客様を迎える。シャインプラザ平安閣大曲に勤務する今さん。入社2年目だが、はきはきとした応対とさわやかな笑顔が好印象を与える。

しかし、胴着と袴姿に着替えた彼女は勝負師の表情に変わり、全身からは不撓不屈のオーラが感じられる。

なぎなたは高校から始め、「部活動見学での先輩の演技がかつこよく、迫力を感じました。また、礼儀作法も学べるという期待もありました」と当時を振り返る。

高校時代はミニ国体、国体、インターハイに出場した彼女。しかし、百戦錬磨で経験豊かな社会人との試合で

は、高校時代には感じたことのないレベルの差を感じるという。

「これが社会人と高校生との壁なんでしょうね。しかし、そこで落ち込んではいられません。経験は浅くても、自分の力を信じて試合に臨んでいます。試合では相手に勝つと強く念じ、勝利をイメージしながら試合に臨みます。相手のにまれ、敵の間合いで試合をしては負けてしまいます」

敵の動きや呼吸を読み、一瞬のすきを見て、遠くから飛び込んで面を奪う技を得意とする彼女にとって、間を測り、自分のペースで試合をすることはとても重要だ。

彼女がなぎなたを通じて磨いてきた「間」という感覚は、仕事でも役立っている。

「接客業の私にとって、お客様の気持ちになつて考え、場の雰囲気を感じながらサービスを提供することや、礼儀作

法は大切です。なぎなたには仕事に通じ合う部分がたくさんあります」

いつも笑顔を忘れない今さん。「手を抜くことが嫌いなので、どちらも一人前になれるよう努力したいと思っています。都道府県対抗の目標は優勝です。自分が一本取って優勝し、ヒーローになることを考えると、今からわくわくします」ととびつきの笑顔で話してくれた。



Manami Kon

昭和62年3月13日生まれ・19歳(協和中淀川)
シャインプラザ平安閣大曲に入社2年目。
なぎなたは高校時代から始める。得意技は遠間からの側面。相手の一瞬のすきをつく。団体戦では次峰。竹村さんの勢いに弾みをつけたい。
なぎなた2段



● 大会日程・スケジュール ●

5月27日 第1日目	9:00	～	9:40	開会式
	9:45	～	9:55	公開演武
	10:00	～	11:40	演技競技
	12:30	～	16:28	試合競技
5月28日 第2日目	9:00	～	11:54	試合競技
	12:00	～	12:25	異種試合
	12:35	～	13:15	閉会式

5月27、28日の両日、当市を会場に「第47回都道府県対抗なぎなた大会」が開催される。

全国から約400人の選手や関係者を迎えるこの大会は、来年行われる秋田わか杉国体のリハーサル大会として位置づけられ、競技別リハーサル大会としては県内では皮切りとなる大会。

初日は午前9時から開会式。公開演武に続き、午前中は演技競技。午後か

秋田県選手を

応援に行こう

らは試合競技の2回戦までが行われる。また、2日目は午前9時から前日に引き続き試合競技が行われる。その後、なぎなたと剣道による異種試合が行われ、閉会式となる。

各都道府県の予選を勝ち抜いた、全国トップレベルのなぎなた選手による大会。秋田県からは当市出身者を含む5人の選手が出場する。演技競技と試合競技の「静」と「動」の世界。しのぎを削る選手たちの応援に会場に出かけよう。気・剣・体が一致したなぎなたの魅力に出会えるはずだ。



私たちが国体に向けて稽古に励んでいます。強化指定を受けている高校生選手。



「ドキドキ大仙 大熱戦」ボランティアスタッフを募集しています

来年度開催の秋田わか杉国体の受付案内や接待、歓迎装飾等を担当いただく「大仙スポーツイベントボランティア」を募集しています。

国体の運営には、競技団体や市役所関係者ばかりでなく、多くの市民の方々の支援が必要です。

一人一人が主役となって、国体を成功させるために、みなさんのご協力をお願いします。

【問い合わせ】国体推進事務局 ☎ 0187(63)1111 内線 281 まで

行政と市民のパイプ役「行政相談員」

行政への苦情や意見をご相談ください

行政相談員は、総務大臣から委嘱を受けた方々で、市などに対する苦情や意見・要望を受け付け解決を図り、制度や行政運営の改善を図る「行政と住民のパイプ役」です。

市の行政相談員は次の9人で、自宅でも相談を受け付けます。秘密は厳守しますので、お気軽に相談ください(相談無料)。

【問い合わせ】

各総合支所市民課

市民課(大曲庁舎)

☎0187-63-1111内線131まで

【各地域の行政相談員と相談日】

地 域	氏 名	電話番号	相 談 日
大 曲	伊藤金之助 (大曲金谷町)	0187-62-1772	日時／毎月第3月曜午前10時～正午 会場／大曲庁舎 市民ホール
	三浦淳子 (花館)	0187-62-4862	
神 岡	佐々木康浩 (神宮寺)	0187-72-2672	日時／毎月第5火曜午後1時30分～4時 会場／神岡福祉センター
西仙北	田村隆志 (刈和野)	0187-75-0269	常時、電話相談を受け付けています
中 仙	伊藤正梶 (清水)	0187-56-4020	
協 和	茂木潮子 (協和境)	018-892-2233	
南 外	甲谷久朗 (南外上野)	0187-74-2705	
仙 北	池田佐喜男 (高梨)	0187-69-2143	期日／5月24日・6月28日※以降未定、会場／紫陽花館
太 田	小松龍昇 (太田町齊内)	0187-89-1125	日時／毎月第1・3月曜午前9時～正午 会場／太田庁舎1階行政相談室

【身体障害者相談員】

地域	氏 名	電話番号
大曲	高橋彦安 (大曲上大町)	0187-62-1287
	小林鴻一 (内小友)	0187-68-3700
	今野徳三 (蛭川)	0187-68-3963
	高野龍治 (飯田)	0187-62-3816
	栗津五郎 (下深井)	0187-63-6869
	木下忠輝 (大花町)	0187-63-7423
	相川武夫 (佐野町)	0187-62-0858
	伊藤喜咲 (四ツ屋)	0187-66-1312
神岡	小林義孝 (神宮寺)	0187-72-2512
西仙北	佐藤秀雄 (土川)	0187-75-1265
	佐藤寅雄 (大沢郷)	0187-78-1713
	斎藤正一 (刈和野)	0187-75-0543
中仙	渡邊 弘 (長野)	0187-56-3608
	高橋 薫 (豊川)	0187-57-2270
	草薙作四 (豊川)	0187-57-2068
協和	武藤市郎 (協和下淀川)	018-896-2256
	鈴木光男 (協和稲沢)	018-894-2351
南外	伊藤伍右衛門 (南外梨木田)	0187-73-1110
仙北	小松典夫 (福田)	0187-69-3455
	大釜康次 (払田)	0187-69-2031
太田	高橋武男 (太田町齊内)	0187-89-1571
	田口一男 (太田町国見)	0187-88-1345

大仙市内の身体・知的障害者相談員を紹介します。

相談員のみなさんは障害者福祉に通じた方々で、在宅支援や悩みなど、障害者の身近な相談役として活動します。秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

また、4月から身体・知的障害者相談員に関する事務が県から市へ移りました。相談員に関する詳細は援護福祉課までお問い合わせください。

【問い合わせ】
援護福祉課 ☎0187(63)1111
内線167・168まで

【知的障害者相談員】

地域	氏 名	電話番号
大曲	竹村 賢 (大曲花園町)	0187-62-2359
	須佐齊司 (大曲丸子町)	0187-63-4272
	進藤 功 (六郷西根)	0187-65-2622
神岡	工藤正悦 (北檜岡)	0187-72-3333
西仙北	井上泰男 (強首)	0187-77-2653
中仙	高橋司郎 (長野)	0187-56-3735
協和	鈴木輝雄 (協和稲沢)	018-894-2404
仙北	新田亮子 (払田)	0187-69-3108
太田	高橋哲美 (太田町太田)	0187-89-1139

身体・知的障害者相談員の紹介
お気軽にご相談ください

家庭児童相談室

悩み解決へのアドバイス

家庭相談員が、不登校や友達関係、しつけや進路など、家庭や子どもが抱えている問題の相談にお答えします。

相談を希望する方は、児童家庭課までお越しください。また、毎月2回程度巡回児童相談も実施していますので、希望する方はご連絡ください。

◆日時／平日の午前9時～午後4時

◆相談場所／児童家庭課相談室

【問い合わせ・電話相談】

児童家庭課 ☎ 0187(63)1111
内線176まで

各地域の市営住宅

入居者を募集しています

市営住宅については、市営住宅のある地域の担当課までご連絡ください。

◆募集住宅／

【太田地域】

福見町市営住宅 一般向け

1戸(2LDK・S56建設)

船場町市営住宅 一般向け

1戸(2LDK・H2建設)

船場町市営住宅 母子向け

2戸(2LDK・H1建設)

笑の口市営住宅 一般向け

1戸(2LDK・H8建設)

笑の口市営住宅 老人向け

1戸(1DK・H8建設)

【西仙北地域】

愛宕市営住宅 一般向け

1戸(3DK・S56建設)

【南外地域】

梨木町市営住宅 一般向け

1戸(3LDK・H8建設)

【太田地域】

太田北部地区市営住宅 一般向け

1戸(3LDK・H4建設)

◆入居資格／

①同居する親族がいる方。ただし、高齢者(60歳以上)や障害者の方は単身でも入居できる場合があります。

②住宅に困っている方

③収入が条例で定められている収入基準以下の方

④市町村税に滞納がない方

⑤市内に居住する連帯保証人がいる方

◆入居予定日／6月16日(金)

◆家賃／入居者の所得や住宅の設備等によって異なります。

◆申込受付期限／5月24日(水)までの午前9時～午後5時(土・日曜日を除く)

【問い合わせ・申し込み】

都市計画課 ☎ 0187(66)4908

西仙北総合支所建設課

☎ 0187(75)2971

南外総合支所建設課

☎ 0187(74)2111

太田総合支所建設課

☎ 0187(88)1116まで

ごみ集積所の修理

老朽化など、大丈夫ですか？

強い風によりごみ集積所が飛ばされ、走行中の車と衝突するという事故が市内で発生しました。運良く、車の後方にぶつかったため運転手にけがはありませんでしたが、一つ間違えば大事故に繋がりがかねません。

各町内等で、管理しているごみ集積所をよく点検し、老朽化や破損等により危険だと感じた場合はすぐに修理するようにお願いします。

市では、集積所の建て替えや補修に対して補助制度を設けていますので、ご利用ください。

※補助制度を利用する場合は、事前に環境課までご相談ください。

【問い合わせ・申し込み】

環境課 ☎ 0187(63)1111
内線275まで



自町内等のごみ集積所をよくご確認ください。

市役所からの
お知らせ
Information
Daisen City



目指せ、日本一！

秋田を代表する民謡の大会 第18回秋田おばこ節全国大会

秋田おばこ節は、明るい曲調から全国的にも知られ、多くの人々に親しまれています。大会は「年少の部」「大賞の部」「熟年の部」で行われ、約150名の方々が自慢ののどを披露します。

歌い手によって異なるおばこ節の表現の違いを、ぜひお楽しみください。

日時／6月4日(日)午前9時開演

会場／大曲市民会館

入場料／1,000円

【問い合わせ・申し込み】

大曲市民会館 ☎ 0187-63-8766 まで

大仙市各庁舎
住所・電話番号

大曲庁舎

大仙市大曲花園町1番1号
☎ 0187-63-1111

西仙北庁舎

大仙市刈和野字本町5番地
☎ 0187-75-1111

南外庁舎

大仙市南外字下袋218番地
☎ 0187-74-2111

大曲南庁舎

大仙市大曲日の出町2丁目8番4号
☎ 0187-66-4905

中仙庁舎

大仙市北長野字茶畑141番地
☎ 0187-56-2111

仙北庁舎

大仙市高梨字田茂木10番地
☎ 0187-63-3003

神岡庁舎

大仙市神宮寺字蓮沼16番地3
☎ 0187-72-2111

協和庁舎

大仙市協和境字野田4番地
☎ 018-892-2111

太田庁舎

大仙市太田町太田字新田田尻3番地4
☎ 0187-88-1111

ポジティブリスト制度 食の安全を確保します

食品衛生法の一部が改正され、農薬等が一定量を超えて残留している食品を販売禁止する、ポジティブリスト制度が5月29日から始まります。

今までは、農薬の残留基準が定められていないものは、流通・販売を禁止することができませんでした。

この制度により、生鮮食品や加工食品を含む全ての食品に対し、一定量以上の農薬が含まれると販売等が禁止されることになり、今まで以上に食品の安全性が確保されます。

この制度は農薬等の残留基準に関する制度で、農薬の使用を規制するものではありません。農薬の使用については農薬取締法で決められていますので、使用方法・使用可能な種類をよく守り、今までどおり安全にご使用ください。

【安全な食品を生産するために】

- ① 農薬の使用方法を守りましょう
- ② 風の強い時の散布は控えましょう
- ③ 近隣の生産者と収穫時期などを確認

改正前

残留基準がない農薬

販売される食品に農薬が残留していても、規制の対象とならない。

農薬の残留値リストにない農薬の残留は規制できない。

ポジティブリスト制度

残留基準がない農薬

一定量を超えて食品に残留すると、販売等を禁止する。

全ての食品に基準値を設定。農薬の残留値リストにない農薬の残留も規制できる。

【問い合わせ】
し、情報交換をしましょう

各総合支所農林振興課
農林振興課 ☎ 0187(63)1111
内線246まで

大 秋田わか杉国体を応援 曲小運動会でスギッチダンス

4月29日、大曲小学校(中村和樹校長・児童数958人)の運動会が開催されました。運動会は、児童が白、赤、黄、緑、紫の各チームに分かれた色別対抗戦。どのチームもユニークな応援で運動会を盛り上げ、1年生から6年生まで各競技で熱戦が繰り広げられました。

また、運動会では来年開催されるわか杉国体を盛り上げようと、3年生から6年生までの児童によるスギッチダンス(曲小バージョン)が披露。わか杉国体マスコットキャラクターの「スギッチ」も参加し、児童と一緒に来年の国体開催を応援しました。

スギッチダンスは、わか杉国体を盛り上げようと「子どもからお年寄りまで楽しめる内容」をテーマに、秋田ふるさと村(横手市)と秋田県が制作した約3分30秒の曲です。

スギッチダンスは最近完成したばかりの新しい曲で、同小学校がいち早く採用し踊りを練習。この運動会での披露が、県内の小学校としては初の試みとなりました。



写真上／全校生徒が一体となり、スギッチダンスを県内初披露。

写真左／運動会に参加したスギッチ。スギッチは子どもたちに大人気でした。

余 桜と花火が夜空に花開く 目地区観桜花火大会



桜と花火。2つの「華」が夜空に咲きました。

4月29日、大曲地域の余目公園(内小友地域)を会場に「余目地区観桜花火大会」が行われました。

今回で2回目となるこの大会は、ホテルによる地域づくり活動を行っている「余目地域活性化対策いきいき会議協議会(加藤加一会長)」と余目公園を中心に桜の植樹を行っている「萬桜・育成会運営協議会(小松忠二会長)」が共同で企画し、地域の方々の協賛を得て行っています。

会場となった余目公園は300本の桜が咲き誇る桜の名勝地です。当日は残念なことに、桜の木につぼみが目立ちましたが、会場を訪れた方々は夜空に咲く大輪の花火に歓声を上げ、春の訪れを実感していました。

なお、余目地区のホテルは6月に見ごろを迎えます。ホテルが飛び交う幻想的な光景をお楽しみください。詳しくは内小友公民館(☎0187-68-2033)まで問い合わせください。

親子で楽しいひとときを 第2回読み聞かせコンサート

4月30日、第2回読み聞かせコンサート(奥田敦夫実行委員長)が大曲中央公民館で行われました。

子どもたちの心を育てる「読み聞かせ」と「音楽」を同時に楽しめる場として、昨年12月に引き続きの開催。約300人の親子などが会場を訪れ、マリンバやピアノ演奏、詩と音楽、ものがたり、合唱など楽しいひとときを過ごしました。

実行委員会では年2回の開催を予定しており、活動を資金面で支えてくれる賛助会員やスタッフを募集しています。詳しくは、事務局の加賀谷和宏さん(南教育事務所仙北出張所勤務・携帯電話080-1675-0646)までご連絡ください。



小学校教諭と大曲保育会保育士によるものがたり「力太郎」。

八乙女山植物観察教室 大事な自然を再確認

5月4日、八乙女山植物観察教室が中仙観光協会の主催で開催されました。この教室は、八乙女山の植物を学ぶことで身近な自然に興味を持ち、自然保護への関心を高めることを目的に、毎年春と秋に行われています。

八乙女山は、平野で見られる植物から山地で見られる植物まで幅広く観察できるため、植物を学ぶ場所として最適な場所です。

案内人の保坂久隆さんは「植物の名前はもちろん、植物同士のつながり・植物と虫の係わりを覚

保坂さんから植物や虫について詳しく説明を受けながら、ゆっくりと自然観察を行いました。



えることも大事」と植物観察について話してくれました。

絶滅に瀕した植物や、植樹された小さな苗木を見ることで、改めて身近な自然の大切さを実感できる教室となりました。



晴天の下、晴れやかな気分でクリーンアップ。

国 きれいな道路に気分も晴れやか 道 105号一斉クリーンアップ

4月23日、中仙地域鶯野から鏈見内までの国道105号沿線約9キロメートルに渡り、一斉クリーンアップが実施されました。

クリーンアップは長野分館・鶯野分館・鏈見内分館の主催で自然の大切さや郷土を愛する心、ボランティアの心を養うために行なわれています。毎年ごみが目立つ春先に行なわれ、今年で8回目になります。

今年は、各町内会・婦人会・老人クラブ・子供会から611人が参加し、担当区域を朝8時から1時間に渡ってごみを拾いました。この日集まったごみは全部で150袋(燃えるごみ78袋、燃えないごみ72袋)で、重さにすると740キログラム。子どもたちにはごみの分別について知る良い機会になったようでした。



投球フォームについて指導する村田選手。子どもたちはその軽やかな動きを真剣な眼差しで見つめていました。

基本をしっかり、声を出して 元プロ野球選手が指導「少年少女野球教室」

5月4日、太田地域で少年少女野球教室(大仙市教育委員会、社団法人全国野球振興会主催)が太田球場で行われ、大仙市や仙北市から5チーム約100人が参加しました。

指導のため大仙市を訪れたのは、小西秀朗さん(秋田高校—立教大学—国鉄—東京)と村田辰美さん(六郷高校—近鉄—大洋)、山内英雄さん(秋田商業高校—大洋)の本県出身者3人を含む5人の元プロ野球選手。

参加した子どもたちはウォーミングアップで体をほぐしたあと、バッテリー(投手・捕手)、内野、外野の各ポジションに分かれ、それぞれ指導を受けました。

「体を開かない」「捕球のときにひざを内側に入れない」「捕球は両手で」など熱心に指導する元プロ野球選手。子どもたちはその一流の技術を身に付けようと、真剣な眼差しで指導を受けていました。

道の駅なかせんで桜と踊りを堪能 八乙女さくらまつり踊りパレード

4月30日、道の駅なかせんを会場に「八乙女さくらまつり踊りパレード」が行われ、踊り手60人とお囃子13人によるドンパン節などが披露されました。

このパレードは4月下旬から5月上旬までの期間に行われる八乙女さくらまつりを盛り上げようと、平成12年から行われているもので、今年で7年目となります。

八乙女さくらまつりは、およそ2,000本のソメイヨシノが植えられている八乙女公園と道の駅なかせん周辺(斉内川堤防)を会場に行われ、近年は道の駅周辺の桜も人気を呼び、多くの花見客でにぎわっています。

30日に行われた踊りパレードでは、県指定無形民俗文化財の長野ささら舞い(中仙地域)やドンパン節が披露されたほか、ドンパンレディースによるドンパン2004も会場を盛り上げました。

この日、道の駅なかせん周辺の桜は満開。晴天にも恵まれ、たくさんの見物客が桜と踊りを楽しみました。



写真上／お囃子の生演奏によるドンパン踊り。

写真下／会場を盛り上げてた長野ささら舞い(左)とドンパン2004(右)。

安全な登下校に願いを込めて 遊技場協会が防犯ブザー寄贈

4月26日、大仙地区遊技場組合(鈴木善啓組合長)が、大仙美郷管内の新小学生に防犯ブザー900個を寄贈しました。

大仙地区遊技場組合では子どもの安全を守るため、小学生への防犯ブザーを寄贈行っており、今年で3回目になります。防犯ブザーは、スイッチを押したり、ひもを引っ張ったりすると大きな音で「ピーッ」と鳴る携帯型の防犯機器です。

この日、大仙美郷管内を代表して行われた花館小学校(入江清一郎校長・児童数386人)の寄贈式では、大仙警察署の佐藤義和生活安全課長からブザーの使い方が指導された後、同校1年の阿部朝陽(あさひ)くんが代表して鈴木組合長からブザーを受け取りました。

入江校長は、寄贈された防犯ブザーだけに頼るのではなく、同地区の見守り隊と協力しながら児童の安全を守りたいと話していました。



写真上 / 贈られた防犯ブザーを手に「道草しないで家に帰ります」と誓った花館小学校の1年生。

写真下 / 鈴木組合長から防犯ベルを受け取る阿部くん。

知識と経験を地域のために 大仙市老人クラブ連合会総会



総会には各老人クラブの代表者が出席し、今年度の目標について話し合いが行われました。

4月26日、大曲中央公民館を会場に大仙市老人クラブ連合会(齋藤重一会長)の総会が行われ、各クラブの代表者など150人が集合し、今年度の活動方針について話し合いました。

市老人クラブは昨年10月に、旧8市町村の老人クラブを合併して活動を開始。全187団体約8900人の会員が所属し、ボランティア活動など地域に根ざした活動を展開しています。

総会では、齋藤会長が「健康を第一に考えると同時に、これまでの知識と経験を地域のために活かすことが必要。特に子どもを狙った凶悪犯罪を防ぐため『子ども見守り活動』に積極的に関わってほしい」と会員に呼びかけました。

日ごろの読書活動が認められ 大曲中学校が文部科学大臣表彰受賞

大曲中学校(佐々木淳悦校長・生徒数840人)が、日ごろから行っている読書活動の実績が認められ、読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。

大曲中学校では「読書は国語だけではなく、生き方を学ぶもの」をテーマに、毎日15分間の朝読書や学年担任による読み聞かせを行っているほか、生徒が作成する読書番組の作成、図書館を活用した授業などさまざまな活動を行っています。

今回、秋田県内で表彰されたのは大曲中学校のほか、八郎潟小学校と大館釈迦内小学校の2小学校。中学校としては全県で唯一の受賞となります。



報告のため来庁した佐々木校長(写真左)と田澤真教諭。

「春を告げる白き花」



4枚の葉をつけ、白いブラシ状の変わった花を咲かせるこの植物、名前を「ヒトリシズカ」。

源義経の恋人だった静御前が一人で舞う姿を連想し、名前が付けられたそうです。

撮影したのは八乙女山の林道。林道には春を彩るよう

に、たくさんの白い花が可憐に咲き誇っていました。



あ・も・わ・ず パチリ

おおきなせなかに お便り広場

あて先はこちらまで——

〒014-8601 (住所不要)

大仙市企画部秘書広報課

手紙・ハガキ、またはEメール
(kouhou@city.daisen.akita.jp)で
ご応募ください。

4月17日号に寄せられたお手紙から

4 月17日号の「おたより広場」に、東京のひとと兵庫のひとの感想がありました。「こんな遠くの人も大仙市の広報を見ているんだなあ」とびっくりしました。これからはますます広報にしてください。

(大曲地域・10歳女性)

仙 北組合総合病院新築ですが、環境の良い所に建てて欲しいと思います。しかし、アクセスや駐車場などさまざまな問題が山積み。これからは行政にだけまかせるのではなく、自分たちの問題として、われわれもきちんと考えなくてはと思っています。

(大曲地域・44歳女性)

広 報はすみからすみまで目を通して参考にしていきます。

(大曲地域・13歳女性)

桜 の便りが各地から聞こえてきますが、農家にはこれからはさまざまな作業が待っています。桜を横目にしながら作業に頑張りたいです。これから集落営農推進をお願いします。

(大曲地域・64歳男性)

今 回の表紙写真とっても良かったです。すが、わが家にも8カ月の女の子がいますが「もう何年か後には、こんな

に立派になっていくんだろうな」と思っている。子どもは成長はあつという間ですね。

(大曲地域・23歳女性)

桜 の季節になりました。裏表紙の八乙女さくらまつりの写真に写っていた7人が素敵でした。表紙もピカピカの新入生の顔、私も思わずにっこりでした。

(協和地域・64歳女性)

お 花見の地図が良かったです。今までは仙北や太田方面の花見に行っていたことがなかったですが、今年はぜひ行ってみようと思います。

(南外地域・39歳女性)

入 学シーズンが終わり2年生になりました。「中だるみ」にならないよう、気を引き締めて頑張っていきたいです。

(仙北地域・16歳女性)

こ の前、大曲市民会館で行われた森山直太郎コンサートで、森山さんが「花火ラーメン」を食べている映像が流れました。実際にそのお店に行ってみたところ、器一面に広がった花火模様を見て子どもたちは大喜び。他にも店内には華やかな商品がたくさん。

おいしいだけではなく楽しめるお店があることを地元にながら知りませんでした。地域に貢献する気持ちは大切だと思います。

(中仙地域・46歳女性)

桜 の季節ですね、まだ寒い日が続いていますけど春は本当に好きな季節です。大仙市にもいろいろなスポットがあるみたいなので、ぜひ行ってみたいです。

(協和地域・47歳女性)

も うすぐ桜が咲く時期です。満開の桜を見ていると自然と顔も心も笑顔になります。近場にたくさん見所があるので咲いたら見に行きます。

(神岡地域・35歳女性)

表 紙の新1年生の笑顔、期待と希望でいっぱいですね。楽しい学校生活が待っていると思います。

(神岡地域・59歳女性)

よ うやく桜の便りが届く季節となりました。しかし、ここしばらく続く寒さのせいか、近所の桜は開くのをためらっているようで、まだ咲く気配を見せません。由利本荘市の桜が、気象庁の予想より1日早い17日に咲いたそうです。まもなく訪れる桜前線が待ち遠しい今日このごろです。

(大曲地域・38歳)

食 材 厨 房 地 場 産

recipe. 14
太田地域



材料(4人分)

◎山ウド／3本◎赤トウガラシ／1本◎みりん／大さじ1◎しょう油／大さじ1～2◎白炒りごま／少量◎ごま油／大さじ1～2

作り方

- ①ウドは千切りし、水にさらしてから水気を切る。
- ②赤トウガラシは、種を除いて小口切りにする。
- ③鍋にごま油を熱し、ウド、赤トウガラシを炒める。
- ④しんなりしたら、みりん、しょう油を加え、混ぜながら炒め煮にする。
- ⑤器に盛りつけ、白ごまをふる。

※ウドは太田地域の直売所(太田町横沢字振ノ内46番地 ☎0187-88-1547)で販売しています。現在は栽培物のウドですが、自生物もそろそろ店頭に並びます。

今回の料理の先生は
小松育子さん
(太田地域・斉内)



新 入生のほほえましい喜びいつぱいのかわいい笑顔、思わず見とれてしまいました。先輩の心温まるグリー

表 紙のピカピカの1年生、とても立派でかわいいですね。孫も1年生になるころは「こんなに立派になれるかなあ」と顔をだぶらせました。
(太田地域・56歳女性)

桜 の花もつぼみをふくらませ始めてきました。4月20日に降った雪にはおどろきました。それでも一歩一歩春を感じて頑張っていきたいと思

(大曲地域・50歳男性)

子 どもが進学するため、県外へ住所を移しました。それと同時に、遠隔地保険証を発行してほしいと大学の合格通知書を持参したところ「その大学に入るとは限らないから」との理由で、保険証を発行してもらえませんでした。結局、発行してもらえたのが、在学証明をもらってから2週間後です。子どもは、慣れない土地で保険証がないために医者にも行けず、入学後に大

テイングカードを前に、表紙の中から大きな声で「ハーイ」と元気な返事が聞こえてくるような気がして、とても感動してしまいました。
(大曲地域・65歳男性)

【国保年金課】 遠隔地保険証とは、学生が住所を修学地に移した場合でも、親元と同じ世帯と見なす特例措置です。現在の制度では、学生であることを証明していたため、申請の際に在学証明書や学生証の提出をお願いしています。今後は県と話し合いを行い、合格通知書などでも発行できるよう、制度の簡略化などについて働きかけて行きたいと思っています。

学の保健室で診察を受けたそうです。どうして遠隔地保険証をもっと早く発行してくれないのでしょうか。
(大曲地域・46歳女性)

ちょっと一服

5人の方々に図書カード
1,000円分が当たる

広報クイズ
Kouhou Quiz

問題

来年行われる「わか杉国体」。大仙市キャッチコピーは「ドキドキ大仙 ○○○」でしょうか？

- ①大熱戦 ②大接戦 ③大興奮

応募方法

答え、郵便番号、住所、氏名、年齢、広報誌の感想や市への質問などをお書きの上、秘書広報課までお送りください。また、ハガキ以外でもファックス(0187-63-1119)、Eメール(kouhou@city.daisen.akita.jp)でご応募ください。

締切は 5月31日(消印有効)

大仙市の行事予定

5月16日(火)～6月4日(日)

(行事予定は都合により日程が変わる場合もあります)

5/16	(火)	全国一斉「緑の羽根」募金運動期間 (～5月31日) 消費者月間 (～5月31日)
17	(水)	
18	(木)	
19	(金)	
20	(土)	圏域医療の現状とこれからの地域医療を考える ■午後1時～■仙北ふれあい文化センター (無料) ※P20 檜岡の酒花火 ■【舞台】午後6時30分～【花火】午後7時30分～■南外体育館前※P23
21	(日)	休日外科当番医：大曲中通病院 (大曲) ☎0187-63-2131 休日歯科当番医：藤田歯科医院 (大曲) ☎0187-63-3320 小児救急診療：仙北組合総合病院 (大曲) ☎0187-63-2111
22	(月)	春の行政相談強化週間 (～28日) 市長面会日 (要申し込み) ■午前10時～■仙北庁舎☎0187-63-3003
23	(火)	
24	(水)	
25	(木)	裁判員制度体験ツアー (要申し込み) ■午後1時30分～ (無料) ※P22
26	(金)	相続・土地家屋相談 (要申し込み) ■午前10時～■社会福祉協議会※P21
27	(土)	てくてくウォーキング(要申し込み) ■午前9時受け付け開始■奥羽山荘 (300円) ※P22
28	(日)	休日外科当番医：仙北組合総合病院・整形 (大曲) ☎0187-63-2111 休日歯科当番医：高山歯科医院 (美郷町) ☎0187-85-3911 小児救急診療：仙北組合総合病院 (大曲) ☎0187-63-2111
29	(月)	
30	(火)	市長面会日 (要申し込み) ■午前10時～■太田庁舎☎0187-88-1111 消費者月間記念講演会■午後1時30分～■女性センター (無料) 消費者月間街頭啓発キャンペーン■午後3時～■グランマート中通店前ほか
31	(水)	
6/1	(木)	大曲ファミリーキャンプ場利用開始 人権相談■午前10時～■各地域の会場 (無料) ※P21 大曲高校吹奏楽部第32回定期演奏会「ウィンド・コンサート」 ■午後5時30分開場■大曲中央公民館 (300円)
2	(金)	湯ったりウォーキング in 横手 (要申し込み) ■午前9時～■かんぼの宿横手 (無料) ※P22
3	(土)	ぬく森グリーンウォーキング (要申し込み) ■午前9時受け付け開始■西仙北スポーツセンター (200円) ※P22 ものづくり体験講座 (要申し込み) ■午後1時30分～■大曲地域職業訓練センター (無料) ※P22 肝がんの予防と治療■午後2時～■グラントパレス川端 (無料) ※P23 薪能公演 (チケット販売／協和市民センター☎018-892-3820) ■午後5時30分開演■唐松城能楽殿 (7,000円～8,500円)
4	(日)	第18回秋田おぼこ節全国大会 ■午前9時～■大曲市民会館 (1,000円) ※P13 第2回大仙市制施行記念駅伝競争大会 ■午前9時～ (開会式) ■大曲庁舎前 もみがり培地づくり研修会 (要申し込み) ■午前9時～ (無料) ※P23 休日外科当番医：仙北組合総合病院・外科 (大曲) ☎0187-63-2111 休日歯科当番医：高橋歯科医院 (大曲) ☎0187-62-5058 小児救急診療：仙北組合総合病院 (大曲) ☎0187-63-2111

圏域医療の現状とこれからの地域医療を考える

主催：仙北組合総合病院早期移転新築推進会議
後援：秋田県仙北地域振興局、大仙市、仙北市
美郷町、秋田おぼこ農業協同組合

5/20(土)

午後1時～ 推進会議総会
午後2時10分～ シンポジウム

会場 仙北ふれあい文化センター

【問い合わせ】

総合政策課

☎0187-63-1111内線237まで

大仙・仙北・美郷の地域医療を考えるシンポジウム (公開討論会) です。

少子高齢化が進む地方では医療の重要性はますます増大しています。

地域医療の現状を知り、将来にわたり安心して医療が受けられる医療体制や利便性などについて、みんなで考えてみませんか。

基調講演

「地域医療の現状と課題」

【講師】秋田県医師会長 小山田雅 さん

パネルディスカッション

「圏域の医療の現状と

圏民として求める医療の姿」

【パネリスト】

仙北組合総合病院院長 小野地章一 さん

大曲仙北医師会長 山下 榮 敏 さん

美郷町長 松田 知 己 さん

太田地域老人クラブ連合会会長

高橋 武 男 さん

子育てサポートはっぴい・ママ副代表

佐藤あゆみ さん

【コーディネーター】

秋田県医師会長 小山田 雅 さん

休祭日救急医療センター(大曲保健センター内)

■内科・小児科 ■午前10時～午後4時

☎ 0187-62-1015

お知らせ
Information

**各地域で相談を受け付けます
人権相談所の開設**

6月1日は人権擁護委員の日です。各地域に人権相談所を開設しますので、いじめや差別、暴力、など、人権に関わる悩みなどをご相談ください。秘密は厳守します。

◆日時／6月1日(木)午前10時～午後3時

◆会場／

【大曲】ジョイフルシティ大曲店特設会場

【神岡】神岡福祉センター

【西仙北】刈和野地区コミュニティセンター

【中仙】中仙農村環境改善センター

【協和】協和市民センター

【南外】南外公民館

【仙北】仙北就業改善センター

【太田】太田文化プラザ

【問い合わせ】

子ども人権 110 番

☎0570-070-110 まで

女性の人権ホットライン

☎0570-070-810 まで



人権擁護のマスコットキャラクター。
まもるくん(左)とあゆみちゃん。

**お気軽に相談ください
相続や土地家屋の無料相談**

相談には申し込みが必要です。相談時間は1人30分以内でお願いします。

◆日時／5月26日(金)午前10時～午後3時

◆会場／社会福祉協議会(大曲地域笑の口市営住宅1階)

【問い合わせ・申し込み】

大仙市社会福祉協議会

☎0187-63-0277 まで

**6月はこの地域です
電気設備定期調査**

東北電気保安協会大曲事業所では、各家庭の電気設備を調査し、結果をお知らせしています。

◆6月の調査対象／

【大曲地域】大曲川原町、若竹町

【協和地域】船沢、上荒川、下荒川、湯の沢、岩瀬、小種(福部羅)

【問い合わせ】

東北電気保安協会大曲事業所

☎0187-63-4940 まで

**県内就職を希望する方へ
秋田県合同就職面接会**

県内企業との面接会を行います。申し込みは必要ありません。

◆対象／大学等を卒業予定の方

◆日時／5月23日(火)午後1時～5時

◆会場／秋田ビューホテル(秋田市)

【問い合わせ】

秋田県雇用労働政策課

☎018-860-2334 まで

**この時期は映像に乱れ
テレビの受信障害**

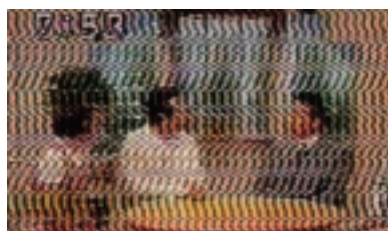
5月から9月ごろまで日本海上空に電離層が発生するため、テレビ映像に乱れが生じる場合があります。UHF電波はこの障害の影響を受けませんので、障害が起こる方はUHFテレビ中継局の電波を受信してください。

◆大曲中継局／NHK総合45CH、NHK教育43CH、秋田放送47CH、秋田テレビ51CH、秋田朝日放送41CH

【問い合わせ】

NHK秋田放送局

☎0570-003-434 まで



この障害が起こると、テレビの映像に「しま模様」が入ったりします。

**秋田県民カレッジ
大仙の歴史・文化を巡る「ふるさと探訪」**

大仙市の歴史・文化を巡る講習会です。移動学習は全講座(8回)を受講する方が参加できません。詳しくはお問い合わせください。

期日／【第1回】【第2回】6月11日(日)

時間／【第1回】午後1時～【第2回】午後3時～

会場／大曲仙北広域交流センター

受講料／3,200円(全8講座)、400円(各講座)

申し込み方法／電話かファックス(018-824-1799)、またはEメール(sgcen002@mail2.pref.akita.jp)で申し込みください。

申込受付期限／各講座の7日前

【問い合わせ・申し込み】あきた県民カレッジ事務局☎018-865-1171まで

【全講座の日程表】(予定)

回	期日	学習テーマ
1	6/11(日)	遺跡は語る!大仙の先人の暮らし
2		「大曲の花火」伝統とこれから
3	6/24(土)	松田解子と荒川鉦山の時代
4		仙北地方のささらについて
5	7/8(土)	【移動学習】※全講座受講者のみ。大仙市、歴史と文化の道を歩く
6		
7	7/22(土)	語りたい・伝えたい「ふるさとの民話」
8		大綱引きに見る日韓の文化



第1、2回講座は先人の暮らしと大曲の花火について。

おやじ世代の地域デビュー おやじ元気講座

お父さんのための講座(全5回)
の第1回講座で、キッチンハーブ
作りを行います。

2回目以降の講座では、手作り
豆腐や手打ちそば作りを予定し
ています。

◆対象／お父さん(お母さんも参
加可能)

◆日時／6月18日(日)午前9時
30分～午後0時30分

◆会場／秋田県立農業科学館

◆受講料／無料(材料費自己負担)

◆申込受付期限／6月6日(火)

【問い合わせ・申し込み】

秋田県立農業科学館

☎0187-68-2300 まで

募集 Invitation 電子工作にチャレンジ ものづくり体験講座

はんだごてを使って「光るオル
ゴールごま」を作ります。完成品
は持ち帰ることができます。

小学生は保護者同伴で申し込
みください。

◆日時／6月3日(土)午後1時
30分～3時30分

◆会場／大曲地域職業訓練センター

◆定員／10人

◆参加費／無料

◆申込受付期間／5月29日(月)
から6月2日(金)までの午前8時
30分～午後5時30分

【問い合わせ・申し込み】

日研総業大曲営業所 ものづく
り体験講座係

☎0187-66-3755 まで



「光るオル
ゴールごま」作り
に挑戦しませ
んか。

※写真はイメージです。

裁判員制度の理解を深める 無料裁判員制度体験ツアー

模擬裁判、模擬評議を行う体験
ツアーです。参加には申し込みが
必要です。

◆日時／5月25日(木)午後1時
30分～3時20分

◆会場／秋田地方裁判所第1号法廷
【問い合わせ・申し込み】

秋田家庭裁判所総務課

☎018-824-3121内線207 まで

http://www.courts.go.jp



大仙の西側をゆっくり楽しむ ぬく森グリーンウォーキング

コース／西仙北スポーツセンター
→大佐沢公園→浮島神社→西仙北
スポーツセンター(約6キロ)

◆日時／6月3日(土)午前9時受
け付け開始

◆集合場所／西仙北スポーツセンター

◆参加費／200円(保険料含む)

◆申込受付期限／5月30日(火)

◆申し込み先／神岡嶽雄館、西仙
北中央公民館、協和市民センター、
南外公民館

【問い合わせ】

西仙北中央公民館

☎0187-75-1115 まで

終了後はかんぼの宿で入浴 湯ったりウォーキングin横手

横手を巡る6キロのウォーキン
グと温泉入浴を行います(無料)。

◆対象／おおむね65歳以上の方

◆日時／6月2日(金)午前9時受
け付け開始

◆集合場所／かんぼの宿横手

◆定員／先着50人

◆申込受付期限／5月26日(金)

【問い合わせ・申し込み】

秋田県高齢者健康づくり推進
チーム
☎018-860-1326 まで

山沿いの自然を楽しむ てくてくウォーキング

◆コース／

【5キロコース】奥羽山荘→大台
スキー場→真木関根公園

【10キロコース】奥羽山荘→真木
関根公園(折り返し)→奥羽山荘

◆日時／5月27日(土)午前9時
受け付け開始

◆集合場所／奥羽山荘正門前広
場(午前8時50分集合)

◆参加費／300円(保険料含む)

◆申込受付期限／5月22日(月)

【問い合わせ・申し込み】

教育委員会各分室

教育委員会太田分室

☎0187-86-9460 まで

雄物川の周辺植物を楽しむ 大曲なかよしウォーキング

◆コース／

【5キロコース】雄物川河川緑地
運動公園→姫神橋付近(折返し)
→雄物川河川緑地運動公園

【10キロコース】雄物川河川緑地
運動公園→伊豆山神社入口(折返
し)→雄物川河川緑地運動公園

◆日時／6月18日(日)午前7時
30分受け付け開始

◆集合場所／雄物川河川緑地運
動公園

◆参加費／無料

◆申込受付期限／6月13日(火)

【問い合わせ・申し込み】

スポーツ振興課(大曲武道館内)

☎0187-63-1111内線320 まで



自然を観察しながら、親子や友達と一緒に
ウォーキングを楽しみませんか。

情報交差点

information

Events イベント

酒と花火を楽しむ 「桧岡の酒花火」

酒をテーマにした曲を流しながら、花火を打ち上げます。

当日は、雨天でも行います。

◆期日／5月20日(土)

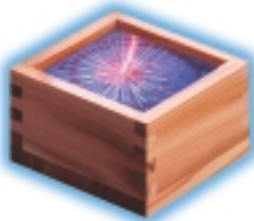
◆時間／【舞台発表会】午後6時30分～7時15分 【花火鑑賞会】午後7時30分～8時30分

◆会場／南外体育館前駐車場

【問い合わせ】

秋田清酒株式会社 小林さん

☎ 0187-63-1224 まで



酒に映る花火を肴に、お酒を楽しんでみませんか。

歌と踊りを楽しみませんか 大曲婦人会たすけあい演芸会

大曲婦人会の第39回たすけあい演芸会です。ぜひお越しください。

◆日時／6月11日(日)午前10時開演

◆会場／大曲市民会館

◆入場料／1,000円

【問い合わせ】

女性センター

☎ 0187-62-1713 まで

大曲仙北医師会の公開講座 「肝がんの予防と治療」

肝臓専門医の講演と、参加者の質問に答える市民公開講座です。お気軽にご来場ください。

◆日時／6月3日(土)午後2時～4時30分

◆会場／グランドパレス川端

◆参加費／無料

【問い合わせ】

仙北組合総合病院消化器科

☎ 0187-63-2111内線2216まで

チケット好評発売中 33rd 蔦バレエ研究所発表会

大曲市民会館では、自主事業として、平成18年度秋田県民芸術祭参加「33rd 蔦バレエ研究所発表会」を行います。

発表会は、アラジンと魔法ランプをテーマとし、そのほかにも小作品を公演します。

◆日時／6月18日(日)午後1時30分開演、午後6時開演

◆会場／大曲市民会館

◆入場料／1,500円(全席自由)

【問い合わせ・申し込み】

大曲市民会館

☎ 0187-63-8766 まで



蔦バレエ研究所による発表会。

視覚障害について学ぶ 医療講演会

視覚障害について学び、目の不自由な方の不便さを理解するための講演会を行います。

◆日時／6月11日(日)午後1時30分～3時

◆会場／秋田県社会福祉会館9階(秋田市)

◆参加費／無料

◆講師／山田西之さん(山田眼科・横手市)

◆演題／見える仕組み、見えないわけ

【問い合わせ】

小林恵津子さん

☎ 0183-62-4191 まで

Course 講習

花のあふれるまちづくり おおた花の会の研修会

■モミガラ培地づくり研修会

土づくりについて学ぶ研修会です。会場については申し込みの際にお知らせします。

日時／6月4日(日)午前9時～正午

参加費／無料

申込受付期限／6月2日(金)

持参するもの／シャベル、入れ物(肥料袋など、培土を入れるもの)

■春の視察研修会

小泉潟公園(秋田市金足)などを視察します。

日時／6月10日(土)午前8時30分集合

集合場所／太田公民館前

定員／60人

参加費／2,000円(昼食等含む)

申込受付期間／6月1日(木)から7日(水)まで

【問い合わせ・申し込み】

太田公民館

☎ 0187-88-1119 まで

環境問題について学ぶ 第1回環境あきた県民塾

身のまわりの環境問題から地球規模の環境問題までを考える講習会です。5月から11月までに7講座を開講します。詳しくはお問い合わせください。

◆日時／5月28日(日)午前10時30分～

◆会場／大曲仙北広域交流センター

◆受講料／無料

◆申し込み方法／住所、氏名、年齢、生年月日、電話番号を記入し、郵送、ファックス、メールで申し込み住所／〒010-8570 秋田市山王4-1-1

メール／kansou@pref.akita.lg.jp

【問い合わせ・申し込み】

秋田県環境あきた創造課

☎ 018-860-1574 まで

大仙市の 花・木・鳥 を募集します

旧8市町村の 花・木・鳥は？

大仙市 仙北町 仙南町 仙東町 仙西町 仙北町 仙南町 仙東町 仙西町

サルビニア、ケヤキ
ベコニア、桜
ヤマユイ、梅
コメツクシ、ソメイヨシノ
りんどう、あじさい
ヤマユイ、ツキヤマドリ
あじさい、いちじく
レンゲツツシ、あか松、かとう

Collect The DAISEN city's Flower, Wood, Bird

- ◆募集基準／①大仙市のイメージにふさわしいもの
②大仙市の歴史、文化、自然になじみ深いもの
③大仙市を象徴するもの
- ◆募集受付期限／6月30日(金)必着
- ◆応募資格／市内に住所がある方
- ◆応募方法／はがき、封書、電子メール、ファックス、本庁および各総合支所に備え付けてある専用用紙で応募可能です。
- ◆記載内容／推薦する「花」「木」「鳥」の名称、推薦理由、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、名称と氏名にふりがなをお願いします。また、単独でも応募可能です。※例えば「花」のみの応募も可能です
- ◆賞内容／採用名称の応募者の中から抽選で、各5人の方に賞金5,000円
- ◆結果発表／結果は広報だいせんや市ホームページのほか、10月1日(予定)に行う「大仙市誕生1周年記念式典」で発表する予定です。

【問い合わせ・申し込み】

総合政策課「花・木・鳥名称公募係」

〒014-8601大仙市大曲花園町1番1号

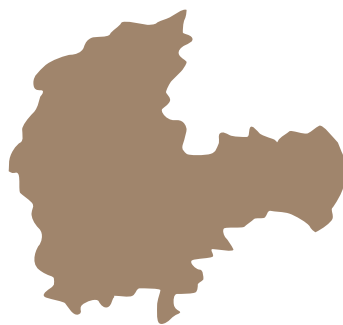
☎0187-63-1111内線228・229、ファックス0187-63-1119

Eメール：sougou@city.daisen.akita.jpまで

編集後記

▼ゴールデンウィーク中に、中仙地域の八乙女山で行われた植物観察会に行ってきた。桜が満開の下、久しぶりにパソコンやテレビから離れ、ゆつくりとした気持ちになれた。▼さまざまな春の植物や山菜を見ているうちに、家で春の味覚たけのこを食べたことを思い出す。東北地方でよく食べられている「ちしませず」のたけのこ(通称ねまがりたけ)は、家族全員の大好物。2歳の娘にとっては、皮をむくのも食べるのもどちらも好きらしい▼ここで編集後記の簡単レシピ。用意するのはもちろんねまがりたけ。料理名は「たけのこの丸焼き」。たけのこ(皮付きをよく洗ったら、表面の皮を包丁で斜めにそぎ落とし、オーブンで焼く。程よく焦げ目がついたらできあがり。皮をむいたら、味噌とマヨネーズを混ぜた「味噌マヨネーズ」で賞味あれ。これがまた、たけのこ本来の味が引き立ち、簡単な割になかなかうまい▼この時期よく耳にする山の遭難。山菜採りに夢中になるあまり時間や場所を忘れることなく、安全には十分注意して旬の味覚を楽しもう。

(朋)



人口と世帯数 (4/30現在) ※()内は前月比

人口	94,953 人 (-202)
男	45,076 人 (-104)
女	49,877 人 (-98)
世帯数	30,435 世帯 (+44)

- 編集発行 秋田県大仙市企画部秘書広報課 TEL 0187-63-1111
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 仙北印刷所



大豆油インキを使用しています。